

## 令和3年度 生徒会役員選挙 ～公職選挙さながらの投票で意識も高まる～

10月12日に令和3年度の生徒会役員選挙が開催され、生徒会長および生徒会議長の立候補者の立会演説会、投票が行われました。本校の生徒会役員の任期は11月1日～翌年10月31日の1年間です。そこで新役員を決めるに先立って、生徒会長と議長の立候補者を公募し、選挙により選出されます。

今年度は、生徒会長と議長にそれぞれ2名が立候補してくれました。立会演説会はコロナ禍でもあり、放送により行われ、生徒は教室に映し出された候補者の写真を見ながら推薦人と候補者の演説を聴きました。その後、放送により、3年から各クラス10名ずつ体育館に誘導され、手指消毒し受付で投票用紙を受け取り、記入台で記入し、投票箱に入れるといった一連の流れが選管の元、厳粛に行われました。

2015年6月、改正公職選挙法が成立し、国政選挙としては2016年7月の参議院選挙から「18歳選挙権」が導入されました。18歳選挙権にともない、若者の政治的リテラシーや政治参加意識を育む必要があるとして、重要視されているのが「主権者教育」です。

本校でも主権者教育の一環として、生徒会役員選挙の一連の工程、投票の流れを公職選挙と同様に実施することで、主権者である生徒が、候補者を知り、考え・意見を持ち、候補者を決める。そして主権者として積極的に投票しようとする意欲や態度を身につけさせたいと考えています。

候補者も抱負をしっかりとアピールし、生徒達もそれを真剣に聞き、スムーズな投票を行っている様子を見てすばらしいと感じました。

投票結果は、翌日選挙管理委員長の生徒から放送で発表されました。その結果、新生徒会長に神西健心さん、生徒会議長に林照瑛さんが選出されました。今後、生徒会執行部及び専門委員長が募集され新体制は生徒総会で承認されスタートします。

新体制でより魅力的な邇摩高校になるよう全校で協力していただくことを期待しています。選出された生徒会長神西さんと生徒会議長林さんの立会演説会で話した抱負を紹介します。

写真は左側が神西さん、右側が林さんです。



### <生徒会長 神西さんの抱負（抜粋）>

私が思う邇摩高校の良いところは、全校生徒が明るく地域の方との関わりが多いところです。私はこの良いところを更に良くするために現在も行っているあいさつ運動を徹底し、コロナ禍でも可能な限りボランティア活動や地域の方と関われるような活動をしていきたいと思います。そして生徒一人一人が自分らしさを活かせるような学校作りを目指します。現在実施している意見箱ですが、まだうまく活用できていないので新生徒会で本格的に活用し生徒の意見を可能な限り取り入れていきたいと思っています。

### <生徒会議長 林さんの抱負（抜粋）>

私は議長になって頑張りたいことが2つあります。1つははじめのある学校をすることです。授業を受ける前に準備をすることや、部活を明るく楽しくできる学校を作りたいです。そして生徒の意見を尊重していきたいです。2つ目はあいさつをしっかりとできる学校をすることです。あいさつは日常生活の基本なので、あいさつをしっかりとすれば地域に愛される学校になると思ったからです。地域の人にあいさつをすれば地域の人に声をかけてもらえコミュニケーションがとれるからです。

